

ESSP: Earth System Science Partnership 地球システム科学パートナーシップ

WCRP, IGBP, DIVERSITAS, IHDPの共同イニシアティブ

- 地球システム、その変化プロセス、地球及び地域規模の持続可能性への影響に関する統合研究を実施

コア・プロジェクトとして、気候変動と:

①健康(GECHH)

②炭素循環(GCP)

③水循環(GWSP)

④農業(GECAFS、CCAFS) 等を実施。

加えて、アジアモンスーン地域を対象とした唯一の地域研究プロジェクトとして、

MAIRS (Monsoon Asia Integrated Regional Studies)計画がある。



Global Environmental Change and Human Health



Global Carbon Project



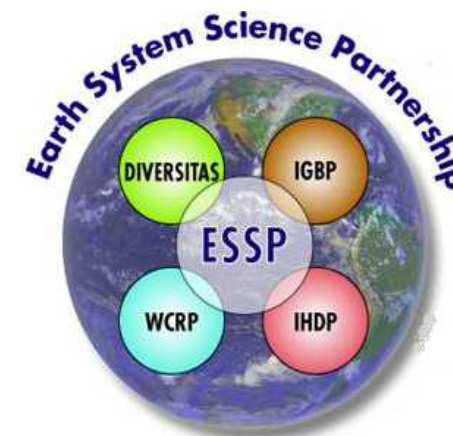
Global Water System Project



Global Environmental Change and Food Systems



CLIMATE CHANGE AGRICULTURE AND FOOD SECURITY



各プロジェクトは、Future Earth傘下として統合される予定

日本におけるESSP関連の研究プロジェクト(例)

- **モンスーンアジア統合地域研究 (Monsoon Asia Integrated Regional Studies: MAIRS)**: アジアモンスーンシステムと人間活動の相互作用の解明と共に、モンスーンアジアにおける持続可能性の追求を、学際的研究で進める。国際オフィスは2005年に中国科学院(大気物理研究所)に設置。国内では、JST-MOST共同研究経費、地球環境研究推進費、APN(会議費)などで、過去3年間で4~5千万/年程度。日本から安成・小池(俊)・松本らが科学委員を務めた。(安成は現在副委員長)。MAIRSは2014年に終了予定。
- **グローバルカーボンプロジェクト (Global Carbon Project: GCP)**: グローバルな炭素循環に関わる自然と両方の側面とその相互作用について、自然科学と社会科学を融合した分析を実施し、国際的な炭素循環管理政策の策定に役立つことを目的とする。GCPつくば国際オフィスは2003年から、国立環境研究所(NIES)に設置。予算は、地球環境研究センター(人件費)、地球環境研究推進費(活動費)、APN(会議費)などで、合わせて年間約2~3千万程度。